

一 別紙の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問一 線部aとdの「」に最もふさわしい語を、次のうちからそれぞれ選び、本文に当てはまる形に直して答えなさい。

- a 保つ 作る 立てる 整える
- b つく 向かう 行く 入る
- c 動く つらぬく 芽生える はたらく
- d 生む 練る 読む 開く

問二 線部①「意外にも身近なところで」とありますが、筆者にとって「意外にも身近」であることがわかる部分を二十字以内で探し、はじめと終わりの三字を答えなさい。

問三 線部②「あれのおかげで五人の子どもを学校へやれた……」とはどういうことか、具体的に説明しなさい。

問四 1. 2. に最もふさわしい語を次のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア さんさんと
- イ しんしんと
- ウ つるんと
- エ ぼつんと
- オ めつきりと
- カ とつぷりと

問五 線部③「自分次第で物の見え方が違ってきます」とありますが、どういうことを言っているのか、筆者の状況にあわせて説明しなさい。

問六 線部④「本来の馬具の仕事をしてもらうことはできないでしょうか」とありますが、筆者はどのような仕事をしてもらいたいと考えていますか。次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 馬につける用具を現代の生活に活かす仕事
- イ 帆布を用い、じょうぶで使いやすい道具袋を作る仕事
- ウ 人と馬を再び結びつける仕事
- エ 使いこむほど味わいのある皮革製品を作る仕事

問七 線部⑤「はっ」としました」とありますが、どういうことに気づいたのか、六十字以内(句読点を含む)で説明しなさい。

問八 線部⑥「理」の「」内にふさわしい漢字を答え、四字熟語を完成させなさい。

問九 線部⑦「もう10年早く田中さんに会っていればなあ」にこめられている工藤さんの気持ちがわかるように、次の文中の「」に内容を補って答えなさい。

「もう10年早く田中さんに会っていれば」

問十 線部⑧「胸に込み上げるうれしきで、いいよのない幸せを感じました」とありますが、なぜこのように感じたのか、説明しなさい。

問十一 線部⑨「このごろ、寝られなくてさあ。あんだのせいかもしれませんが」にこめられた工藤さんの気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 仕事の注文が増えていそがしくなったことを不満に思っている。
- イ 田中さんの期待に応えられる製品ができるかどうか心配している。
- ウ 充実した仕事ができる幸せで胸がいっぱいになっている。
- エ なかなか会えない田中さんと次に会えることを心待ちにしている。

問十二 線部⑩「馬具職人の」内に最もふさわしい語を次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 一介の
- イ 一筋の
- ウ 一抹の
- エ 一昔の

問十三 線部⑪「工藤さんらしい」はおめでとうは、一般的な「おめでとう」とどういう点が異なるのか、答えなさい。

問十四 この文章の内容の説明として正しいものを、次のア～カからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 祖父が馬具職人だったために、筆者の身近なところに馬具がたくさんあった。
- イ 工藤さんは子どものころから馬具の仕事を見て育ったが、最近馬具の注文はなくなっていた。
- ウ 筆者の幼いころ家にうまやがあり、馬とともに過ごしていたので、筆者は馬に特に強い思い入れがある。
- エ 筆者はこれまで工藤さんと一度も会ったことがなかったのに、突然店におしかけた。
- オ 工藤さんと筆者は、製品を若者の感覚に合わせてようと話し合いを重ねた。
- カ 使い勝手のよいバッグを作ってほしいという筆者のこだわりは、結局工藤さんには受け入れてもらえなかった。

一一 は裏にあります。

受験番号

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

薄暗い部屋の中、たった三分間のフィルムが私に見せた世界は美しかった。私を打ちのめすには、充分すぎるほどだ。

『造形表現』は所謂「教養」と呼ばれる普通科目だ。学部による①がなく、この学部の学生でも履修できる。本来は文学部に所属する教授が、講師を受け持っていた。授業は盛況だった。教授が大学内でも特に有名な人気講師だったからだ。受け入れ人数の三倍近い学生が初回の授業に殺到し、教授は慣れているのか、落ち着いた口調で一つの受講条件を提示した。

自由に世界を表現すること。絵画でも写真でも映像でも、塑像でもなんでもいい。作文だって、詩だっていい。世界を表現してみせる。才能を見せてみる。

私が描いたのは、大学の桜並木だった。季節は春で、花は見頃を少し過ぎた辺り。その絵は、ただ写実的に描いたわけではなかった。桜は美しく、壮大だが若々しく見えるように。燃えるような赤い色で咲く花の間を通る道が、薄く色づいて見えるように。意識して色を重ねた。絵の中央に、後ろ姿の少女が立つ。『幸せの小道』というタイトルをつけた。

絵を提出して数日が過ぎ、大学構内の掲示板に授業の履修資格をもらえる合格者の名前が貼り出され、そこには私の名前もあった。合格者が②出揃った最初の授業、③教授は満面の笑みで現われた。

「どうも私は名前ばかり有名になってしまってるようで、毎年、こうやって受講者を試験させてもらってるんですが……。単位稼ぎの半端な気持ちで受講しようっていう人は、まず面倒がつて作品を提出してくれないでしょう」

一段高い教壇の上に立ち、黒板を背に教授が顔を上げる。そして言った。「今年はすい」

その言葉に、私の背中はずむずむと落ち着かない。ある種の予感があった。そして、子供の頃から今日まで、その予感は滅多なことでははずれない。

「目をA下ろさない出来の作品がいくつかありました。Aそれだけでも珍しいんですが、驚くことにその中でもさらに抜き出ているものがあって、初回の授業はIそれを見てもおろし思います」

頬が熱くなる。彼の言うウそれは、私の絵だという確信があった。恥ずかしかった。この後も、そしてきつといつも同じパターンを辿る。教授が私の作品を褒め、解説し、学生にも尋ねる。どうしてこんなに目をBんだと思う？ 力があるんだと思う？ 私はいつでも顔を少し俯けて、その作者が自分であるという事実を隠したいという

【④】①と、逆にEそれを言言したいという【⑤】①の間を揺れる。私の夢を裏切り、胸の奥がさわつきたしたのは、教授が教壇を降りたすぐ後だった。自分の助手を務める学生に、彼が目で合図を送る。すると、その学生が立ち上がり、窓際のカーテンを全て閉めた。

光を遮った薄闇の教室で、⑥私は落ち着かなかつた。私の絵は、暗い場所で見えろがいいと判断されたのだろうか？ 桜に塗った赤い色が、彼にそう思わせただろうか。黒板の前に壁掛け用のスクリーンが広げられた。プロジェクターだろうか。絵画を拡大して見せるための。

予感はずれたことを悟ったのは、スクリーンの前、教室の中央にビデオデッキが設置されたのを確認した瞬間だった。

そんなバカな。この大学には文学部はあるものの、芸術学部はない。専門的な勉強を積んでいる人間が、私の他にいるとは思えなかつた。

⑦抵抗する思いをよそに、フィルムの上映が始まった。映ったaの①は空だった。空の中を、雲が流れる。他には音楽も何もない。カメラが下を映し、画面に桜が入った。風にそよぐ桜は、緑が混ざり始めた葉桜だった。カメラがさらに下を映す。私は息を呑んだ。映し出された地面は、私bの②描いたあの道と同じ場所だった。③幸せの小道。それは、どこか。の④屋上から視点が道に落下する様子を映しただけの、短い映像だった。

フィルムが私に見せた世界は美しかった。技法の名前は知らない。スピードを感じさせずにゆっくりと視点が落ちるこの撮り方に、当然名前はあるだろう。しかし、映像だけで充分だった。私を⑤の⑥には、充分すぎると言えた。

映像が途切れ、教授の声が教室の後ろから聞こえた。「これを撮った法学部の田辺くんは、本日来ていますか？」

清水あやめ、丁大学文学部二年生。

生まれて初めて味わう、圧倒的な敗北感だった。

(辻村深月『光待つ場所へ』より)

問一 ①に入る語として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 垣根
- イ 堀
- ウ 天井
- エ 溝

問二 線部②「出揃った」をわかりやすく言いかえて答えなさい。

問三 線部③「教授は満面の笑みで現われた」とありますが、このときの「教授」の気持ちを説明しなさい。

問四 A・Bに最もふさわしい動詞の組を次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア A うたがう B むく
- イ A まわす B かける
- ウ A おおう B うばう
- エ A みはる B ひく

問五 線部ア～エ「それ」のうち、同じ内容を示しているものをすべて選び、記号で答えなさい。

問六 ④【④】⑤【⑤】に最もふさわしい語を次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ④
  - ア 気むずかしさ
  - イ 気よわさ
  - ウ 気はずかしさ
  - エ 気まぎれ

- ⑤
  - ア すがすがしさ
  - イ いさみしさ
  - ウ わざとらしさ
  - エ ほろろしさ

問七 線部⑥「私は落ち着かなかつた」とありますが、「私」はどのような気持ちですか。そのような気持ちになった理由もあわせて説明しなさい。

問八 線部⑦「抵抗する思い」とはどのような思いか、説明しなさい。

問九 a・oと同じ働きの「の」を次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 花の咲いているのを歩く。
- イ かごに入っているのを下ささい。
- ウ ほんの気持ちです。
- エ お弁当には何が入っているの。
- オ 人形焼きは浅草の名物だ。

問十 線部⑧「幸せの小道」とありますが、ここに「幸せの小道」と記されているのはなぜか、理由として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 教授からほめられた映像の作者は喜んでいるだろう、と「私」がうらやましく思っていることを表すため。
- イ 教授がほめた映像に、「私」が描いたのと同じ場所が使われていたと気づいたことによる衝撃を表すため。
- ウ 自信のあった作品が教授にほめられなかったのを不幸だと感じる「私」自身をあざ笑う気持ちを表すため。
- エ 「私」が見た映像も、「私」の絵と同じ「幸せの小道」という題だったことに対するおどろきを表すため。

問十一 この本文で述べられている「私」の絵と「田辺くん」の映像は、どのようなところが最も大きく異なると考えられますか。作品としての良し悪しということ以外で答えなさい。

問十二 ⑨に最もふさわしい語を、本文中から抜き出して答えなさい。

二 漢字の問題は解答用紙にあります。

十和田周辺は古くから馬の産地。北国の暮らしの中で家になくはならない労働力、農耕馬として飼われていました。かつて人と馬を結んだ鞍や手綱など、馬具を作っていた人は今どうしているのでしょうか。すっかり馬の需要がなくなり、10年ほど前に馬具屋は全国に数える程度にしか残っていませんでした。しかも本来の仕事はほとんどなく、帆布を縫うなどで「生計を」ているといいます。

でもきつという。馬の存在が大きかった地元で職人はいるはず。なんとか馬具に携わる人に会えないか、と思っていたある日、①意外にも身近なところで、願いがかないました。

私の幼いころ、祖父はお盆の墓参りにまず裏山に行きました。その杉林の中に小さなお堂があり、わが家にとつてかけがえのない愛馬の墓があると知ったのは大きくなってからのことでした。

「いい馬だった。②あれのおかげで5人の子どもを学校へやれた……」。しみじみ語る祖父の表情は、昼夜を問わず厳しく労働し、生活を支え、苦業をともにしてきた馬に対する感謝の念にあふれていました。そして、私たち親子が住んでいた家の一角にある新しい部屋は、かつてうまやだったと、そのとき初めて気がつきました。

雪の降る日のこと。1 日が暮れ、足早に「帰塗に」たとき、暗がりの中に2 裸電球のような明かりがゆらめく店がありました。店先には犬の首輪や鞍入れが下がっています。馬の影はありません。でもそのとき、もしかしたら馬具職人かもしれない！ と、直感が「ました」。

いつも作家のころへ向かう道すがら、私が今まで気づかなかっただけでした。私にそこまでの思いがなかったからかもしれませんが、今思えば、③自分次第で物の見え方が違ってきました、願わなければ見えてこないものですね。

迷うことなく直行しました。約束もなく手土産も持たず、吸い寄せられるかのように戸を開けました。そんな私を工藤さんは快く迎えてくださいました。帆布で工事作業用の道具袋を作りながら、バッグの修理に来たお客さまに丁寧に応対されています。その姿が印象的でした。

祖父の代からの馬具屋は、当時70歳を過ぎた工藤さんと兄弟で営まれており、幼いころから馬具の仕事を見て、10代から皮革に手をかけてきたそうです。

この仕事をして、近ごろいちばんうれしかったことを尋ねると「孫のランドセルを作ったことかな」と穏やかな笑顔を見せてくれました。

この人に④本来の馬具の仕事をしてもらうことはできないでしょうか。従来の馬具ではなく、その技術を現代の生活に生かすために。できるなら、かつて人と馬をつないだ馬具のように、使い込むほどに味わいのある手仕事を……。願わないうちはいられません。ふと奥の戸棚を見ると、頑丈そうなカバンがありました。今は使われなくなった銀行員の集金カバン……。そう、バッグができる！

それからはバッグのデザインで頭の中はいっぱい。山を越えて工藤さんに会いに行く日が続き、車にガンリンがないことをすっかり忘れて、怖い思いをしたこともありました。デパートのバッグ売場の話をし、雑誌を見、構想を「ます」。当時40過ぎの私と70過ぎの工藤さんの感覚をたぐり寄せて、現代の人に使うてもらえるものを考えることは、なかなか容易ではありませんでした。今日は田中さんが来る日だと思つて、楽しみにしているんだ」という工藤さんの言葉で、その距離はどんなに近く感じられたことか。とはいへ現実には、バッグのどんな形を提案しても、工藤さんは浮かない顔。私は、目新しさ、やわらかさ、軽さだけに走り、提案をしていたのです。

⑤「はっ」としました。

彼は決してできないとはいいませんでした。今思えば、職人だからこそ、何でも作る、作ってやろうという覚悟だったのだと思います。私は軽薄でした。彼は馬具職人なのです。馬具は、人と馬を結ぶもの。厚く硬く丈夫でなければ、その重みに耐えられません。縫い目は必ず表にあります。その技を生かしたものでなければならなかったのです。頭でわかっているけど、心ではわかっていませんでした。知識は心があつて初めて生きるのですね。

それを境に霧が晴れたように踏み込んだやりとりができ、お互いの気持ちに通じ合うようになりました。きつと仕事の大変さを知らないのをいいことに、多くの

⑥「理」題をいっていたに違いありません。「私は、田中さんの注文には何でも応えたい。それが職人だから」。工藤さんはそういつてくれました。その気持ちは、たとえできなかったとしても、どんなに心強うれしかったことでしょうか。

完成まで数年かかりました。厚さ3ミリの一枚のヌメ革から傷のないところを選び、馬具ならではの技術を生かしたシンプルなバッグ。手縫いの縫い目が出ていて、使い込むほどに味が増す、丈夫でごまかしのないもの。それはひと針ひと針、馬具職人の誇りと思いが形になっているようでした。

ある日、工藤さんが「私、娘にしやべったの。『70過ぎて、またこんな仕事ができると思わなかった。⑦もう10年早く田中さんに会ってればなあ』って。そしたら、娘がさ『お父さん、そうでなくて、あと10年長生きすればいいんじゃない？』ってしやべられさあ」。前掛け姿でそんな話をしてくださったとき、⑧胸に込み上げるうれしさで、いいよりのない幸せを感じました。

高齢の方の手仕事には、無心の力がある気がします。作るものが、今の工藤さんの人生そのものだと思えます。自分の作品を手にしニッコリ笑う顔は、戦争と激動の時代を生きて抜いてきたたくましさのせいでしょうか、と思っほど、透き通っていました。生きていくとき、自分が必要とされている実感、喜んでもらえていること、待つてもらっていること、世の中のかかわりのなかで、役に立っているといえることが大きな支えなのだと思つてです。

「壊れたら直してくれますか？」と問うと「もちろん。でも、壊れねえびよん」と津軽弁で答えてくれました。

それから6年。「娘がさ『私もお父さんの仕事、やってみようかな』っていつてき」とゆずりはに娘さんといらっしやいました。工藤さんの手仕事を受け継いでくれるなら、なにとうれいことでしょうか。拍手したいくらいでした。

今も私の手元で工藤さんのバッグは活躍してくれています。今では新しい形も作れるようになり、ゆずりはを訪れるお客さまに喜んでいただいております。

私が体調をくずしたと知っては電話をくださった工藤さん。「元氣ですか？ 心配です。よかったです。さっぱりしました」の声がいつも耳に残っています。工藤さんも、どうぞお元氣でいてください。私も負けないよう歩みます。仕事を通してですが、深い絆を感じます。

工藤さんから携帯電話に何度か着信がありました。なかなか出られずやつとお話すると「わたし、⑨このころ、寝られなくてさあ。あんだのせいがもしれませんよ。話っこしたくなつてさあ」。なんとうれいこと。工藤さんの電話の声は涙でかすれていました。彼は数日後、県から表彰されることになっていました。今ではテレビにもよく登場するほどのです。

2月16日、私の誕生日に「田中さん、誕生日でながったあ？」と⑩工藤さんらしいおめでどうかをいつてくれます。仕事以上の深い絆を感じる人です。

\* ゆずりは——筆者が十和田湖の近くで営む店の名前。

（田中陽子『ゆずりはの詩』より）

受験番号

平成三十年度 国語 解答用紙

問一	a	生計を
問二	c	直感が
問三		
問四		
問五		
問六		
問七		
問八		
問九		
問十		
問十一		
問十二		
問十三		
問十四		

受験番号

問一	a	生計を
問二	c	直感が
問三		
問四	1	
問五		
問六		
問七		
問八		
問九		
問十		
問十一		
問十二		
問十三		
問十四		

もう10年早く田中さんに会っていれば

なあ

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問十一	問十二
	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	a	問十		
	合格者が				④			b			
	最初の授業				⑤			c			

漢字の問題は裏にあります。

問一 次のカタカナを漢字で書きなさい。

(1) 本番が  マヂカ  
にせまる。

(2) お  カゲン  
いかがですか。

(3)  イヒヨウ  
をつく展開。

(4)  フカク  
にも涙した。

(5) 前途に  コウミヨウ  
を見いだす。

問二 次の文中の  にふさわしい熟語を書いて、慣用表現を完成させなさい。

(1) 一寸の虫にも   
の魂。

(2) 医者の不   
。

(3)   
は寝て待て。

(4) 今や、そんなものは無用の   
だ。

(5) 彼女に   
の矢が立つ。

平成三十年度 国語

※ A3 の用紙を B4 に縮小してあります。